能登黒瓦のカケラで松波ベンチを作ろう
～サッカー広場から復興交流拠点へ～

日時：10月18日(日) 11:00-13:00

会場：松波酒造トレーラーハウス裏ミニサッカーコート広場（石川県鳳珠郡能登町松波30-114）

対象：能登町在住の小学生・中学生（親子参加も可）、松波地区住民（年齢不問）

内容： 能登町・松波地区の今後の復興に向け、ミニサッカーコート脇に常設する交流・休憩のためのベンチを寄贈します。ベンチの座面には能登黒瓦の再生建材が利用されており、失われた黒瓦にもう一度命を吹き込み、能登半島地震の記憶を風化させない役割を持ちます。

当日はベンチの寄贈に合わせ、地元の親子や近所の方々および松波酒造関係者の皆さま、建築を学ぶ大学生達が一緒になり、酒蔵・自宅の跡地から黒瓦のカケラを掘り起こすとともに、ベンチの一部にカケラを埋め込む作業を行いながら、震災前の風景や記憶について語り合うワークショップを行います。

【参加登録】

参加登録がなくてもご参加いただけますが、可能な範囲で右記のマーカーより事前の参加登録をお願いいたします。

主催：GAPPA noto(北陸建築学生仮設住宅環境支援プロジェクト：金沢工業大学チーム) | 協力：能登町、松波酒造株式会社、株式会社CACL、有限会社 永山祐子建築設計、株式会社LIXIL